

国際交流～百聞は一見に如かず!!～

共生・グローバル推進センター

今年度、台湾の中華大学から初めてダブル・ディグリ一生2名が本学へ。中華大学と本学の両方の学位取得を目指し、日々、勉学に励むことになりました。また、韓国・台湾から中長期留学生・短期研修生・インターンシップ生が来学、韓国の姉妹縁組校の来岡もありました。特に中長期留学生は、ダブル・ディグリ一生や本学の留学生とともに、様々な活動を通して岡山や本学のグローバル化に貢献してくれました。本学の学生も、中長期留学・語学研修・日本語教育実習・異文化理解実習のプログラムを通して多くの人と交流し、またオーストラリア・韓国・ニュージーランド・ポーランドの文化に触れることで、異文化のみならず自文化についても考える機会を得ることができました。

1. オーストラリア・韓国・ニュージーランド・ポーランドの協定校・姉妹縁組校の皆さん、お世話になりました!!

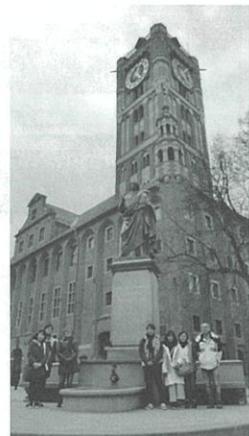
(1) 日本語教育実習・異文化理解実習～国際交流基金の助成金を受給～

3月19日から30日まで、言語文化学科の学生5名が、ポーランドの世界遺産の町・トルンにあるニコラウス・コペルニクス大学言語学部で実習を行い、日本語や日本文化について紹介しました。ちょうどイースターの時期だったので、その雰囲気を体感しただけでなく、日本の鍔を収蔵する博物館を訪れることで、ジャポニズムについても学ぶことができました。

8月21日から9月1日までは、言語文化学科・食物栄養学科の学生4名が、オーストラリアのバララットにあるフェデレーション大学で実習を行い、日本語や日本文化について紹介しました。授業では、一緒に踊ったりアニメの話で盛り上がりがたりしました。1週間お世話になったホストファミリーとの別れは涙を伴い、「いつかまた必ずバララットに来よう」という気持ちが生じた実習でした。

9月4日から9月12日までは、言語文化学科の学生10名が、岡山市と姉妹都市の韓国・富川市にある柳韓大학교、ソウル特別市にある柳韓工業高校、牙山市にある湖西大학교で実習を行い、日本語や日本文化について紹介しました。一緒にうらじやを踊ったり、折り紙を折ったり、ゆるキャラやジブリについて紹介したり、焼き肉を食べたり、チマチョゴリで町を歩いたりと、ツアーでは得られない、貴重な体験づくしの1週間となりました。

また、これらの実習では、協定校・姉妹縁組校の他に、ポーランドではトルンのEMPIK日本語学校やグダンスク・ワルシャワの日本語教育関係者の皆さん、オーストラリアではマウント・クリア・カレッジ、西シドニー大学、国際交流基金シドニー日本文化センターの皆さん、韓国では瑞文女子中学校、漢城大학교、国際交流基金ソウル日本文化センターの皆さんにもお世話になりました。



トルン生まれの天文学者・コペルニクスの像の前で案内してくださった先生・学生と。



フェデレーション大学での実習の様子です。日本の歌を紹介し、皆で踊りました。



国際交流基金シドニー日本文化センターで、オーストラリアの日本語教育事情について説明していただきました。



ソモン女子中学校で。生徒さんが積極的に参加してくれたので、とても楽しかったです。



昔の町並みを保存している全州ではチマチョゴリを着て、町を歩きました。

(2) 語学研修

8月から9月にかけての約1か月、言語文化学科の佐々木奈菜さんと根本智奈巳さんが、2月から3月にかけての4週間から6週間、言語文化学科の園田莉央さんと生活心理学科の松本悠希さんが、ニュージーランドのワイカト大学 Pathways College ハミルトン校で英語集中講座を受講しました。授業が早い日は午後1時、遅い日でも午後3時に終わり、授業後はショッピングモールに行くなどの自由行動が可能です。また、期間中はホームステイなので、授業で学習した英語を自由行動後も使う機会が得られます。優しい人が多く、住みやすいニュージーランドは、英語のブラッシュアップには絶好の国だと言えるでしょう。



映画「ロード・オブ・ザ・リング」のロケ地で

(3) 中長期留学

8月から2月まで、言語文化学科の中野真美さんが、韓国の湖西大学校に留学しました。年が離れた学生とうまくやっているか留学前は心配でしたが、韓国人学生だけでなく、日本人留学生、中国人留学生も年齢の差に関係なく接してくれたので、本当に楽しい留学生活を送ることができました。学生と年の離れた社会人学生の交換留学は韓国では希なこともありますメディアが注目、朝鮮日報にも記事が掲載され、よい思い出となりました。



クリスマスのイベントで飾られたツリーの前で

2. 韓国・台湾の協定校・姉妹縁組校の皆さん、ようこそ山陽へ!!

(1) 短期研修・インターンシップ

4月に台湾・中華大学からインターンシップ生（岡山国際ホテル）2名が、7月に、同じく台湾・中華大学から日本語・日本文化研修プログラム生16名（引率：魏志珍先生）、インターンシップ生（岡山市役所）1名が来学。7月の学生たちは、食物栄養学科の授業で台湾の食文化を紹介したり、学生と日本語で交流したり、講師や同窓会の方々の協力を得て、お茶室や弓道場で茶道や弓道体験をしたりしました。



湖西大学の学生とうらじや祭りで燃えました

8月には、韓国・湖西大学校から Go Global プログラム生11名（引率：金居修省先生）が来学。本学学生や中長期留学生、インターンシップ生と一緒に「山陽学園ワンダフルワールド」という踊り連名でうらじや祭りに参加しました。RSKラジオの取材もあり、暑いのが苦手な韓国の学生も、最後は踊りの魅力に取りつかれ、総踊りにも加わりました。



柳韓工業高校の生徒と岡山市内のショッピングセンターで

2月には、韓国・柳韓工業高校の交流プログラムが実施され、西大寺の裸祭りを見に行ったり、講師の方々の協力を得て、剣道・柔道体験をしたりしました。高校の先生方と本学の関係教員との親睦会も行われました。

(2) 中長期留学

前期は、台湾・中華大学から江宜静（コウ・ギセイ）さん、後期は韓国・湖西大学校から金保林（キム・ボリン）さん、台湾・中華大学から洪慈瑩（コウ・ジエイ）さん、蔡佩蓉（サイ・ハイヨウ）さん、台湾・国立屏東大学から戴以晴（タイ・イセイ）さん、劉昀伶（リュウ・インレイ）さんが総合人間学部で学びました。

(3) ダブル・ディグリー

後期、台湾・中華大学から初めてダブル・ディグリ一生を受け入れました。洪昱緯（コウ・イクイ）君と沈鈺珊（シン・ギョクサン）さんです。2人の入学式は9月20日、学長室で行われました。台湾からの中長期留学生とダブル・ディグリ一生は、大学祭で本学の留学生・日本人学生と一緒に、また岡山市内の小学校でも昔話の読み聞かせをしてくれました。



聴衆の中にはインドネシア・フィリピンの研修生の方たちや近くの小学校の子どもたちも。

(4) 国費（文部科学省）日本語・日本文化研修留学生修了式

昨年9月から、本学で1年過ごしたオーストラリア・フェデレーション大学のマデリン・アームストロングさんの修了式が、8月5日、学長室で行われました。マデリンさんは8月に帰国したので、本学の実習生がフェデレーション大学を訪問した際、様々な行事の中心となってお世話をしてくれました。将来は日本で英語の教師になるべく、日々努力しています。



齊藤育子学長とマデリンさん

3. 岡山ウェルカム大使 任命式

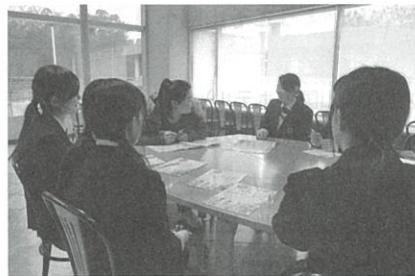
10月23日、西大寺の百花プラザで「岡山ウェルカム大使」の任命式が行われ、本学言語文化学科のゲン・ティ・ラムさん、洪昱緯君、沈鈺珊さん、辛舜夏（シン・スンハ）君の4名が出席しました。岡山県生活衛生同業組合が「外国人が安心できるおかやま発進事業」として行うこの企画は、留学生が岡山で体験したことを母国語で発信することで、岡山を世界に広める試みの一環です。銭湯体験、会席料理体験などの様々なプログラムを通して、留学生は岡山の良さに改めて気づいたようでした。



任命式には、岡山の他の大学の留学生も出席しました。

4. 岡山東商業高校の生徒との中国語・中国文化交流会

12月13日、岡山東商業高校で中国語を学んでいる生徒たちが来学。中国人留学生4名と交流を行いました。最初は緊張していたようですが、徐々にリラックスして打ち解けた雰囲気に。学習した中国語をネイティブ・スピーカーに使い、通じるかどうか試してみる良い機会となつたようです。



グループになって、中国語や日本語で交流しました。 楽しかったです！！



山陽学園創立 130 周年の節目祝う

山陽学園創立130周年記念式典が、岡山シンフォニーホールで開催されました。

本学の在学生、山陽女子中学・高校の在校生や同窓生、教職員ら約1800人で節目を祝い、さらなる飛躍を誓いました。

渡邊雅浩理事長は「建学の精神と先人の情熱を胸に、時代

の潮流を見極めながら不断の学園改革を推進する。地域社会に貢献するため、主体的、実践的に活動できる人材育成を進めたい。」と式辞で述べました。

学園功労者3人を表彰後、在校生代表（園児・生徒・学生の計8人）が登壇し、新たな歴史を刻む決意を示しました。

